

弓道ながの

第36号

発行：長野県弓道連盟
会長 山川茂樹
〒396-0025
伊那市荒井3919-3
TEL.0265(72)3060
編集：県弓連広報部
印刷：榊宮澤印刷

巻頭言

感動の射をめざして

長野県弓道連盟会長 山川茂樹



明けましておめでとうござい
ます。
希望に満ちた
新春を元気で
迎えることと
存じます。

世相は相変わらず雇用不安、政局の不安定、昨年暮れに発生した厳しい状況の朝鮮半島と重なり、景気が低迷して長い経済不況からの脱出が見えてきません。
この厳しいときに弓道に励むことができることは大変幸せなことです。弓道によって明るい社会の形成のために少しでも貢献していきたいものです。

県弓連の事業は会員皆様のご協力により、計画どおり推進することが出来ました。特に昨年の千葉国体で成年男子が遠的の部で優勝を果たし、喜びと感動を享受することができました。

私たちは生活の中で、いろいろな感動を受ける機会があります。弓道で言えば静寂の中で行う矢渡し、多数で演武する射



祝射会で矢渡しをする山川会長

礼、また選手権大会・国体等の選手の活躍からも多くの感動を得ることが出来ます。先日の祝射会の答礼射からも大きな感動を覚えました。それは目標に向かって一生懸命誠を尽くす心と、その人に備わった力を精一杯に表現しようとする、その姿から感動を覚えるのです。そのことは厳しい練習に耐え、基本を徹底して身につけた成果であって、心・技・体が完全に一つになった美しい姿の表現であります。

弓道の聖人と謳われた阿波研造先生の「大いなる射の道の教え」のなかに「いたずらに的中のみを喜ぶな、十射のうち一度でもよい、己も満足し人に感動せしめる射がきたら喜べ、的に囚われて己を忘れて何になる、全身全

霊を尽くして息の続くかぎり頑張れ、妥協して手で離すな」と、この言葉が大切な宝物に行き会えたような気持ちになりました。自らを正しくして一射一射に全力を尽くし、見る人に少しでも感動を与えることのできる射を大きな目標に弓と向き合うことのできることは大変幸せであります。

的に囚われず、離れを意識しない、武道としての真の弓道を目指した修練は、常に基本に忠実、礼に即した体配と技の調和、そして心がこもり滲み出るような誠を尽くす心がけが大切だと思えます。

弓道は人間形成を大きな目標としています。修練は自己を律することに厳しく、妥協を許さぬ情熱が大切です。目標に向かってたゆまず努力することによって向上し、進歩するとともに真の楽しみも生まれてきます。

会員の皆様が審査や各大会において活躍した成果で「弓道長野」の力も蘇りつつあります。新春を迎え弓道の礼の心を大切にして、新しい目標に向かって一層前進することを念願して止みません。

本年は役員改選の年です。新しい組織で県弓道連盟が益々発展することを祈りして新年のご挨拶といたします。

ゆめ半島千葉国体を終えて

成年男子・遠的優勝 成年女子・遠的三位 総合六位



強化部長
北嶋 晋

『千葉国体では男女共に入賞するんだよね!』

『そつさー(匠磋)』と支部対抗の選手の皆様の前で囃らずも宣言してしまつた手前、手ぶらでは帰れません。本番に照準を合わせて強化合宿を行つてきました。現地に行けば大幅な立て直しが必要となつてきます。公開練習をうまく活用しなければなりません。一路千葉の地へ。

競技初日は成年男女の遠的予選で始まりました。まずは成年女子予選1回戦、2回戦と続きます。各ブロック予選を突破してきた24県がベストエイトを目指します。長野県は20番目でそれまでに60点以上を出したのが8県、緊張が高まります。ハラハラドキドキの中61点で2回戦に可能性を残しました。2回戦に入り調子を落とした県もあり、逆に調子を上げた県もありで混

戦模様となつてきました。合計点130点代がボーダーとなりました。長野は後半の立ちですので、追うかたちになり緊張が一層高まります。やったー、76点をたたき出し五位通過です。二年連続で入賞を確定しました。

午後からは男子の予選1回戦、2回戦が行われました。やはり各ブロックを勝ち抜いた30県の戦いです。ベストエイト進出のための通過予想点は140点くらいでしょうか?男子も立ち順20番で偶然にも女子と一緒にしました。長野県の1回戦は85点で二位の点でした。2回戦に入り予選通過点が次第に現実となつてきます。しかし長野は強い、2回戦で81点を出し(落の平澤選手4本目を外しても)終わってみれば予選一位の通過でした。そう言えば去年は二位通過で二位でしたから、今年は優勝かななんて?待って待って油断は禁物。独り言です。

男女共に抽選を終え、女子の1回戦の相手は予選八位の兵庫県、男子は予選二位通過の石川県となりました。男

子は同じブロックの県で正直言つて避けたかったのですが、相手にとつて不足はありません。やるだけです。

大会二日目は成年男女の近的予選です。昨年は男子は余裕で予選通過しましたが、女子は不調で予選落ちでした。今年こそ!予選1回戦9中で2回戦に望みを残します。2回戦も9中で合計18中。19中以上が5県ですので18中の5県から3県を残す競技に臨みました。残念ながら敗れました。いやー今年はレベルが高かった。頑張りました。でも惜しかったです。

成年男子の予選が始まりました。21中がボーダーとなりますか?外したらおしまいです。ところが1回戦まさかの9中、2回戦皆中が絶対条件となつ

てしまいました。不退転の気持ちで臨んだ2回戦は11中。合計20中で7県から3県を拾う競技となりました。今年は女神様は微笑んでくれませんでした。女子同様悔しい予選落ちでした。本当に悔しい・・・

大会三日目、前日の近的予選の結果を引きずらないように気持ちを切り替えて女子遠的の決勝トーナメントです。対兵庫戦が始まりました。最初の一手は29対34で負けています。ここから白熱した試合で計算ができません。四ツ矢が終了して果たして結果は?計算できません。点数が出ました。長野70点、兵庫67点で、やったー勝ちました。目がウルウル、昨年の成績を超えました。そして準決勝の相手は鹿児島県、予選一位です。相手は出だしから高得点を連発して84点対53点の完敗でした。すぐに三位四位の決定戦です。相手は静岡県、36点対29点で三位入賞を果たしました。栗林、山田、高山三選手本日に頑張りました。万歳!

さて、男子決勝トーナメント、相手は同じブロックで三年前の秋田国体遠的優勝の実績を持つ石川県です。緊張の中74点対58点で準決勝進出です。続く相手は静岡県、77点対66点で退け、昨年同様決勝戦に駒を進めました。相手はこれまた同じブロックの新潟県。



北嶋強化部長・コーチ陣とともに
勝利の記念撮影をする選手団

Copyright(C) Nagano Kyudo Federation

二年前の大分国体で遠的優勝しています。試合開始。出だしは相手優勢、2本目でこちらが逆転、以後一進一退、平澤選手4本目を10点に決めダメ押しで90点对68点の勝利でした。目が潤みます。やったー優勝、日本一です。立派でした。

こうして今年度の千葉国体は終わりました。数多くの応援メッセージ本当

二十一年ぶりの快挙に達成感と歓喜で泣きました…

成年男子監督 志村 仁

私にとって今回の国体は8回目の挑戦でした。長野県成年男子は選手層が年々厚くなってきており、今年の最終選考会に進んだ6人には実力差がほとんどなく、誰が選手になっても本国体で戦えるという状態でした。実際、最終選考会は的中率9割がボーダーとなり、とてもハイレベルな選考会でした。その苦しい戦いで勝てたという事が自信に繋がっていました。7月中旬に選手交代をしましたが、チームとしても自信を持って北信越国体や本国体に望む事が出来たと思います。

本国体の遠的決勝トーナメントでは準々決勝で石川県、準決勝で静岡県を

にありがとうございました。遠的女子三位、男子優勝は県民の皆様の期待に対する素直な答えになったと思います。感謝の気持ちで一杯です。「二位じゃなきゃいけないんですか」と誰かが言いました。正しい弓を実践して、苦勞した結果はやはり「優勝、一位です」戦いは続きます。ありがとうございました。

降し、決勝戦は新潟県と戦う事になりました。第一控えの椅子に座っている時、昨年の新潟国体の決勝戦で自分の弱さから失敗し、それが原因で負けた事を思い出していました。同じ失敗をしないように自分に言い聞かせ決勝戦に臨み決勝戦の1、2本目は良い射ができました。一手終わった時点で相手が2本落としていましたので優勝できると思ったのですが、そこから本当の戦いでした。今まで17年間弓道を続けて来た中で最も辛い一手で、今思い出しても必死だった事しか思い出せません。自分の4本を引き終え本座に戻った時に緊張から解放され、同時に優勝を確信しました。達成感と歓喜で胸がいっぱいになり本座で少しだけ泣い

気合を込めて皆中した三位決定戦 先生方や共に闘った仲間へ感謝!

成年女子監督 高山 寿恵

私達成年女子は昨年の遠的五位以上の成績を目標に、近的の最低ラインを9中・遠的の最低ラインを60点と決め練習に励んできました。

北信越が近づくにつれ三人の的中や射にも安定がでてきて遠・近ともに目標をクリアできるように、調子の悪い仲間がいれば他の二人でカバーする。そんな理想的なチームになっていました。

そんないい雰囲気の中で迎えた北信越ですが、昨年は本国体の開催県が新



志村・市川・平澤の男子選手

に支えられ見守って頂けて本当に幸せな人間である事を実感しています。本当にありがとうございました。

潟という事で三棒あった出場権も今年は二棒に戻り昨年以上のプレッシャーもありました。

一日目の遠的では高さを掴む事がなかなかできず、二日目の近的でも中が伸びず、散々な結果に終わってしまいました。しかし安定した二人に助けられ、千葉国体への出場を決める事ができました。

千葉国体までの約一ヶ月は「千葉では二人の足を引っ張らないぞ!」と心に決め、練習に励みました。

そして9月28日、千葉国体へ出発しました。国体独特の雰囲気は圧倒され

ましたが、練習では自分のやるべき事だけに集中し、何をしなければならぬのかの最終確認をしました。

遠的では予選を五位の成績で突破し、決勝トーナメントの出場を決めました。遠的での目標は五位以上。まずは一回戦勝つぞという気持ちでした。少し力が入ったのか一本外してしまいました。二人に助けられ、無事準決勝へと進む事ができました。

準決勝では的中はあったものの点数が伸びず、惜しくも負けてしまいました。しかしまだ三位になれるチャンスが残っていたので、気合いを入れて臨みました。六本全部詰め、見事三位を手に入れました。今までの努力が報われた瞬間でした。また男子の21年ぶりの優勝の瞬間にも立ち合う事ができ喜びもひとしおでした。

近的では一本足らず予選突破になりませんでした。今後の課題を見付ける事ができました。



第65回国民体育大会 弓道競技会
平成22年10月1日～4日 会場 千葉県立匝路高等学校弓道場・特設遠的弓道場

これまで指導してくださった先生方や、一緒に頑張ってきた栗林さんや山田さんに心から感謝しています。これからも技術の向上を目指して挑戦し続けたいと思います。

世界伝統弓術祭典(WTAF)で優勝!

諏訪支部 五段 市川 隆光



それは国体最終選考会で選手落ちをした数日後の夜のことです。

「10月暇ですよ?韓国で弓引かない?」「予定無くなつたし行くよ。」友人とのこの電話が世界伝統弓術祭典(WTAF)へ参加するきっかけとなりました。

WTAFとはその土地の人々の風土・風俗と共に培われた世界各国の伝統弓術家が一堂に会し伝統弓術演武・弓術大会・弓術学会等が行われる大規模な集まりで、今年10月7日～12日までの5日間、韓国大田(デジョン)にて35カ国百数十名の弓術家が参加し盛大に開催されました。

日本からは日本武道学会弓道分科会会員をはじめ古流派免許の先生方や私達若手の総勢8名が参加してきました。

今回私は演武と弓術大会(個人戦と団体戦)で出場させて頂き、弓術大会において個人と団体の両方で優勝する

ことが出来ました。

競技は五種類の①鹿的20m②ハンガリーの動く的40m③日本の60m(日本の的とは高さも大きさも違いました)④モンゴルの90m⑤韓国的120mで1つの的につき5射、それぞれ中つた場所で1～3点が割り振られ合計点で競います。練習は無く一発勝負でした。

的の距離と大きさ、引く本数しか決まりはなく形式を極力取り除いた自由な競技で、ルールが少ない事により各国の弓引きが自国の歴史文化・民族性を存分に発揮でき、行射の前に弓矢に口づけをして祈りを捧げ一射に真剣になる姿、的に中れば素直に喜びを爆発させる姿、的から外れれば狙い射法を工夫し次の一射に活かす姿、とにかく弓に夢中になる姿がそこにありました。

競技終了後、私の優勝が決まった直後から参加した各国人が次々と「Congratulations!」「Dear friend's glory is sincerely praised!」と握手や抱擁

を求めて来ました。

WTAFに参加した全ての人にとって弓の形は違えども伝統弓術を愛し弓を愛している、それだけで友人なのです。互いを認め合い、互いを理解しようとする姿、自国の弓を一射一射精一杯引く姿に私は美しさを感じ感動しました。この祭典を通じ弓と初めて出会った時のわくわくやドキドキ、初めて矢を飛ばした感動、を思い出させてくれました。

私は本当に運がいい。弓道と出会えたこと、弓道を通じて様々な人と出会えたこと、故郷長野県の代表として多くの試合に参加できていること、国体で優勝出来たこと、伝えたいことはたくさんありますが余白が足りない為、最後に私を支え応援して頂ける全ての人に感謝を捧げ、締めたいと思います。



色彩豊かな民族衣装を身にまとった参加者とともに

第23回ねりんピック石川2010に参加して

「チームながの」監督 菅沼 昭彦

長野県からは、19種目20チームが参加。開催日は10月9日〜12日。

小雨の中、総合開会式は予定通り実施され長野県は26番目に入場行進しました。メインアトラクションは石川県の代表的な郷土民芸やダンスと和太鼓等多彩な催しによって、選手団へのおもてなしを見ることが出来何よりの開会式となりました。

弓道は加賀市スポーツセンターの特設会場で開催され、都道府県並びに政令指定都市の68チーム。

矢渡しは、今回の最高齢者の表彰を受けられた、93歳の高島教士七段でつやも良く元気そのものでした。

射場は体育館のため、矢場はダンボールで出来ており、的の当たりと、矢場とは音が違うよう工夫され、巻き藁もダンボールで矢の刺さりも深すぎず普段と変わりなく行射出来ました。矢場のダンボールについては三年越しの研究と申しております。

予選は25番目、2射場で後ろは石川県の高齢者チーム5人で420歳、81歳から93歳のメンバーでマスコミが多く我々も惑わされるほどでした。予選第一日目は、練習の成果無く敵



左から 柴・加藤・征矢・菅沼・清水の各選手

しい立ち上がりでしたが、最初の当たりに応援に来てくれた声援に励まされ明日に繋ぐ成績で終わりました。予選二日目は出だしよく応援からの声援に力付いて、後がない残りの7本目からは1人も落とさず見事な締めくくりが出来ましたが、きわどい勝負となり結果は決勝戦への参加チーム決定戦で敗退。交歓交流戦も皆中者がでる白熱した交流でした。

清水先生を中心にして選手団の協力の下、楽しく練習から最後まで無事に行きましたことを感謝申し上げます。

各地 便り 坪井優さんの継矢

飯伊支部 藤澤 敏子

10月20日の水曜日、稽古の日でした。この日は、今迄日曜日毎行われた県下弓道大会と連合審査も終わり、ピリピリした稽古とは違って、互いの射を見あいながら伸び伸びと稽古している最中でした。

閉館時間も迫り、坪井優さん他、若い弓士の皆さんが最後の立に入りました。その日最終の行射に皆さん気合の入った射を見せてくれました。坪井さんが乙矢を放った瞬間「カシャン！」と大きな音、「あー筈を打って矢が傷んでしまった」と思いました。

安土に行った坪井さんから数人からの「継矢です」との声に、稽古仲間全員で安土に向かったのは言うまでもありません。弓道誌や「弓道ながの」の紙面上でしか見たことのない継矢がそこにありました。羽の3分の1まで裂かれた甲矢はまるで花が咲いたかのようです。折々に遭遇する出来事ではないので大急ぎで家に戻り写真に収めた次第です。因みに、坪井優さんは県下弓道飯田大会で個人優勝、連合審査で四段合格の成績を収めています。

『坪井優さん談』

「気持ちよく離れた瞬間大きな音と

共に、筈打ちとは違う違和感だった。それでも恐る恐る矢取りに行くと、甲矢にしつかりと乙矢が刺さり、初めての継矢となりました。今まで数年間付き合ってきた矢に感謝し、今後新しい矢と共に、稽古に励んでいきたいと思えます。」



記念すべき継矢の前で写真に収る坪井さん

叙勲のお祝い!

2010年春の叙勲で本連盟の会員・宮下倬實さん(上田市・71歳)が、また秋の叙勲で松原重雄さん(木曾町・75歳)が共に瑞宝双光章(教育功労)を受章されました。お祝い申し上げます。

弓仲間紹介

じいちゃんばあんと

若者の練習仲間

上田市弓道協会 錬士六段

中野 栄治

じいちゃん、ばあちゃんと、上小地方では今はあまり言う人がいなくなりまして「おじいさん、おばあさん」と言う事です。

今日、ご紹介するのは少し若いおじいさん、おばあさんです。

この仲間は弓道教室を卒業した人達が練習日を決めて始めたのが始まりのようです。最近では若い人達も見掛けるようになり活気づいております。

特に何年卒業とかにはこだわらず、その時間帯に参加できる人が毎週水、金曜日午前中に練習を行っている仲間です。

練習中は黙々と弓を引いています。審査時期になると和服を着て受審者に合わせて体配など息合いに合わせて行うなど真剣に取り組んでいます。五人一組にならないとすぐ誰か側にいる人に声を掛け、すぐに一組を創りあげ射場へと消えて行きます。ばあちゃんパワーは「すごいなあ」と思



(前列中央が筆者)

います。(でも、心はずごく優しい人たちです)

私も会社が休みの時など、たまに顔を出す時がありますが、最初の頃よりは「大分、上達したなあ」と思っています。やはり、真剣に取り組むと言う事はすぐに結果は出ないかもしれないけれど「やる時はやる」という姿勢で取り組みれば出来るもんだなあと感じました。11時過ぎになるあと休憩の時間です。お茶を飲みながら世間話をし、家事の事、料理のレシピなど話題も豊富で笑いが絶えません。また、手作り菓子や旅行のお土産など色々あります。べるのもまた楽しみです。

同じ趣味で知り合い、一喜一憂出来る事は素晴らしい事だと思えます。また、この仲間と話していると自然に顔がほころんで来るのが分かります、心豊かな気分になってきます。一人一人の心の温かさが感じられます。近年、退職後、家に閉じこもりがちな人が多いと聞きますが、この仲間達には感じられません。私も定年には早いですが定年を迎えた時にはこのような仲間と弓を引きたいと思っています。皆さん、最近、腹の底から声を出して笑っていますか。笑っていると心が豊かになり、綺麗になりますよ。

平成22年度祝射会が開催され 延べ26名が表彰されました

11月23日、塩尻市菅弓道場において

今年度、叙勲・表彰を受けた会員、教士・錬士昇格者、国体・全国大会等に入賞した会員を祝う県弓連主催の祝射会が盛大に開催されました。山川茂樹県弓連会長の挨拶、表彰式・矢渡しに続いて参加者の一手祝射、受賞者による答礼射が行われた後、会場を移して祝宴を開催し、今年度の締めくくりの行事を終えました。表彰された会員は次のとおりです。(順不同・敬称略)



謝辞を述べる北村彌昌さん



挨拶をする山川会長

- ▼叙勲(瑞宝双光章)
 - 宮下倬實・松原重雄
- ▼長野県体育協会有功章
 - 北村彌昌
- ▼教士昇格者
 - 田村 脩・小林義一・田中正彦・久保田智恵
- ▼錬士昇格者
 - 熊谷佳子・平澤敏弘・篠澤英次・松枝敏広・伊藤公二・上條 寛・武田礼子・志村 仁
- ▼第61回全日本弓道大会有段者の部
 - 優 勝：高山寿恵
 - 第四位：中村 宏
- ▼全国中学生大会
 - 個人七位：中村誠人
- ▼全国高校総体
 - 個人三位：熊田ゆい
 - 七位：野澤和樹
- ▼第65回国体成年男子遠的
 - 優 勝
 - 志村 仁・市川隆光・平澤敏弘
- ▼第65回国体成年女子遠的
 - 第三位
 - 栗林 薫・山田静香・高山寿恵

私と弓道

信州大学医学部弓道部

初段 坂井 政之

つめることができる機会なのです。弓を引いている時はすべてを忘れ、何も聞えなくなる。的だけしかみえなくなる。その瞬間が、たまたま好きなのです。

弓道は楽しいです。私が弓を引く理由は楽しいから。楽しいから練習するし、練習してうまくなったらまた楽しくなる。徒手から始め、初めて弓を持った時、彗を付けた時、的に立った時、的中した時、すべてが感動でした。的の中に関してだけではありません。今まで積み上げられてきた歴史を射法八節や、体配の一つ一つから感じとることもまた楽しみの一つです。

同じように、同じ距離から引くのに毎日同じように引けることはありません。それどころか一射、一射、必ずどこか違うところが出てきてしまいます。中つた時と全く同じように引いても、中らないことは当然のようにあります。しかし、その射には自分の心が映っていて矢所をみるとその時々々の心を見ることができると気が私にはするのです。だから私にとって弓道は、自分を見



医学部弓道場で練習に励む筆者

東日本看護学生弓道大会に22年ぶりの団体優勝

信州大学医学部弓道部 保健学科主将 濱 綾子

今年8月28日・29日に第41回東日本看護学生弓道大会が群馬県前橋市の群馬県総合スポーツセンター内のぐんま武道館で開催されました。

大会には17

校が参加し、総勢205名もの選手が参加しました。

8月28日・29

日は両日ともに残暑とは言えど、猛暑と呼ぶに等しい



表彰式後、百瀬先生とともに

暑さの中での試合となりました。今回、信州大学は教士六段 百瀬正先生の指導の下、22年ぶりの団体優勝を果たすことができました。

また、個人戦でも本校選手が三名入賞するなど大きな成果をあげることができました。結果は以下の通りです。

(関係分のみ)

団体の部

優勝 信州大学

個人の部

男子・第三位 松本匡人(信大)

女子・準優勝 片山史子(信大)

女子・第五位 市川亜矢子(信大)

全日本学生弓道王座決定戦 信大弓道部・男子 準優勝！

女子は準決勝で敗退

11月21日～23日、伊勢神宮弓道場で

行われた第58回全日本学生弓道王座決定戦で、北信越代表の信大男子は、1

回戦で福岡大学を79中対75中で、2回戦で国際武道大学を79中対74中で、準

決勝で静岡大学を79中対72中で破り決勝戦に進出しましたが、決勝戦で立命

館大学に131中対150中で敗れ、

惜しくも準優勝に終わりました。

那須将樹(織4)・岩波哲也(工3)

の2名が優秀選手賞を受賞しました。また女子は2回戦で筑波大学と対戦し

18中対10中で勝ち上がりましたが、準決勝で優勝した桜美林大学に13中対18

中で敗れ、ベスト4で終わりました。

大会結果

◆平成22年度長野県弓道支部対抗競技会

○9月5日 長野運動公園弓道場

▲団体・近的の部

- ①上伊那支部 ②飯伊支部 ③諏訪支部

- ④上小支部 ⑤佐久支部

▲団体・遠的の部

- ①諏訪支部 ②飯伊支部 ③須高支部

- ④長野支部 ⑤上小支部

▲団体・総合成績

- ①諏訪支部 総合得点9 (近的3、遠的6)

- ②飯伊支部 総合得点8 (近的4、遠的4)

- ③上伊那支部 総合得点6 (近的6、遠的0)

- ④須高支部 総合得点3 (近的3、遠的0)

- ⑤上小支部 総合得点3 (近的2、遠的1)

▲個人・近的の部

- ①平澤敏弘(飯伊) ②山田静香(上伊那)

- ③押金 孝(上小)

▲個人・遠的の部

- ①平澤敏弘(飯伊) ②志村 仁(諏訪)

- ③宮坂博之(諏訪)

◆第27回無相大師奉賛弓道大会

○9月12日 中野市宮弓道場 480人参加

▲個人・高校女子の部

- ①重倉朱莉(中野西) ②小川莉穂(立志館)

- ③矢澤美季(長野日大)

▲個人・高校男子の部

- ①赤羽亮太(長野吉田) ②山崎まさき(須坂)

- ③宮澤竣介(長野工業)

▲団体・高校女子の部

- ①中野西C(牧野玲華、重倉朱莉、近藤由佳)

- ②市立長野E(柄澤由季、高池楓、大日方由佳)
- ③長商D(和田はるな、関満梨菜、和田莉佳子)

▲団体・高校男子

- ①吉田D(伊藤信之介、赤羽亮、太宮坂鴻介)

- ②長野工B(鈴木堯之、松沢諒太、宮澤竣介)

- ③中野西C(古林桂、丸山輝、原裕太)

◆第52回塩尻市武道大会

○9月12日(日) 塩尻市弓道場 212名参加

▲団体の部(中学生)

- ①槻ノ木(市川璃子・小東和美・後藤萌)

- ②翔翱(野口みつき・古畑満紀・輪湖楓)

- ③いなほ(荒井夏桜・笹あずさ・中村奏海)

▲団体の部(高校生)

- ①豊科(女)B(伴在梓・白澤佳奈・野瀬絢香)

- ②美須々(女)B(山本沙耶・勝家美菜・和地珠緒)

- ③豊科(男)A(横山拓也・遠藤慎太郎・前田聖也)

▲団体の部(一般)

- ①弓魂A(小松徹朗・百瀬序・安部直登)

- ②善哉館B(堀田健一・武川勇・土川俊一)

- ③小諸懐古(瀬田庫夫・新崎睦美・栗林正直)

▲個人の部

- ①土川俊一(善哉館) ②阿部直登(弓魂)

- ③羽田野萌(志学館) ④前田聖也(豊科)

- ⑤千野量子(志学館) ⑥山崎聡一郎(蟻ヶ崎)

- ⑦征矢理容(混合) ⑧小松徹朗(弓魂)

- ⑨中村 宏(下諏訪) ⑩堀田健一(善哉館)

◆第30回池田町秋季県下弓道大会

○10月10日 池田町弓道場 350名参加

▲個人の部(高校・一般共通)

- ①若松篤志(上田東) ②中村周平(豊科)

- ③藤原柔絵(穂高商業)

▲高校・団体

- ①上田東A(竹内鴻志・若林滉季・若松篤志)
- ②上田千曲(宮下浩平・中澤真士・竹内克也)

▲一般・団体

- ①上小(小林博正・川俣晃・高橋正弘)

- ②善哉館(折橋光江・堀田健一・廣田義照)

- ③池田A(寺島崇治・窪田和恵・山田雅亮)

◆第30回飯山市民弓道大会

○10月10日 飯山市民弓道場 54名参加

▲高校の部・団体・男子

- ①飯山北A(滝澤清十郎・藤澤望・小林一平)

▲高校の部・団体・女子

- ①飯山北F(高沢萌・中村萌子・宮澤未来)

▲高校の部・女子個人

- ①清水愛美(飯山) ②宮澤未来(飯山北)

▲高校の部・男子個人

- ①小林一平(飯山北) ②佐藤大希(飯山北)

▲一般の部・女子個人

- ①清水和代 ②富井浩子 ③佐々木民子

▲一般の部・男子個人

- ①飯田秀樹 ②岡田宏之 ③小田切雄一郎

◆第56回県下弓道大会

○10月10日 県営飯田弓道場 213名参加

▲個人の部(高校男子)

- ①筒井雄人(飯田) ②市村茂人(飯田)

▲個人の部(飯田)

- ③下平達也(伊那北) ④久保田翔悟(飯工)

▲個人の部(飯田)

- ⑤清水公一郎(飯田) ⑥関島礼太(下農)

▲個人の部(飯田)

- ⑦羽生和樹(飯工) ⑧原 佑輔(飯田)

▲個人の部(飯田)

- ⑨谷川伸吾(伊那北) ⑩石原 悟(駒工)

弓道合宿予約随時受付中!

野辺山洗心弓道場

- 近的道場 18人立1ヶ所 (床暖房完備)
- 遠的道場 12人立2ヶ所
- 遠的道場 1ヶ所

〒384-1305

長野県南佐久郡南牧村野辺山1003

HP: <http://www.teisanlodge.com/>

ご予約・お問い合わせは 0267-98-2861

③岩瀬 藍(飯田) ④大槻夏美(伊那北)

⑤上島優輝(岡南) ⑥河村 遥(下農)

⑦実原史奈(下農) ⑧吉沢 希(飯女)

⑨木下佑紀(風越) ⑩川上佑果(岡南)

▲個人の部(一般)

①坪井 優(矢真飛) ②平澤敏弘(矢真飛)

③橋本和憲(弓魂) ④藤澤敏子(かさこし)

⑤中島 啓(松尾) ⑥杉山滋志(駒ヶ根)

⑦常磐三男(松尾) ⑧前澤秀夫(東伊那)

⑨山田静香(弓魂) ⑩倉田宗夫(高森)

▲団体の部

①飯田高B(清水公一郎・筒井雄人・原佑輔)

②東伊那(湯澤幸司・前澤秀夫・今井勉)

③飯田高D(岩瀬藍・唐沢理紗・宮澤明香里)

○10月11日 松本市弓道場

一般63名、高校184名参加

▲高校の部・個人

①小山敏是(美須ヶ丘) ②村山勇太(松商学園)

③忠地なな(深志) ④村上尊哉(県ヶ丘)

⑤秋江俊介(深志)

▲一般の部・個人

①坂井政之(信大医) ②吉田博行(松本)

②丸山淳子(松本) ④芝 史恵(松本)

⑤鶴野沙都美(信大)

▲高校の部・男子団体

①美須ヶ丘E(座間俊兆・宮原駿・小山敏是)

②深志D(鶴川柁也・高宮一輝・太田隆明)

③深志A(山田壮真・秋江俊介・栗田知典)

▲一般の部・団体

①信大医(片山史子・坂井政之・宮崎暁)

②信大C(日高翔伍・細田剛寛・中村武尊)

③信大F(江本昂平・月森翔太・久保田良介)

◆第22回国宝松本城お城まつり奉射弓道大会

○11月3日 松本市弓道場 参加者332名

▲高校男子個人の部

①宮原 駿(美須ヶ) ②前川陽拓(岡谷南)

③林 貴徳(木曾青峰) ④新井啓正(松商)

⑤北野聖二(田川) ⑥宮澤彰俊(諏訪美)

⑦山田壮真(深志) ⑧小山敏是(美須ヶ)

⑨西澤 圭(松商) ⑩吉田和毅(県ヶ丘)

▲高校女子個人の部

①金子幸代(穂高商) ②神田麻衣(松商)

③猿田友梨(豊科) ④宮野里彩(深志)

⑤清澤雅子(県ヶ丘) ⑥山崎希望(松商)

⑦須山菜菜(蟻ヶ崎) ⑧郷原 優(県ヶ丘)

⑨大谷結子(県ヶ丘) ⑩白澤佳奈(豊科)

▲一般個人の部

①日高翔伍(信大) ②伊達美佳(信大)

③原田 進(信大) ④森泉拓志(佐久)

⑤亀岡英司(南佐久) ⑥田中康統(信大)

⑦永治拓也(信大) ⑧清水北登(信大)

⑨田嶋 陽(塩尻) ⑩伊藤孝幸(木曾)

○11月3日 千曲市弓道場 団体戦のみ

▲男子団体の部

①長野日大A(遠藤融成・宮下祥海・竹内達哉・小山佑太・櫻井宏樹)

②須坂東A(小林直樹・宮崎辰哉・篠塚亮太・小平健太郎・保倉大輝)

③市立長野B(宮澤卓也・宮崎 淳・藤澤健二・水海亮兵・菊地一聡)

④上田千曲(宮下浩平・中澤真土・竹内克也・飯島優磨・申東仁)

⑤長野高専B(小林和樹・百瀬智弘・村上勇暉・中澤駿一・伊藤琢也)

▲女子団体の部

①中野西B(牧野玲華・重倉朱莉・青木里抄・島田祐衣・今井優花)

②屋代C(原山美紗子・竹内夢乃・井出史香・鹿島早織・白谷綾乃)

③上田染谷丘(柳澤美純・片岡陽花・市川悠・寺本彩子・荒井琴美)

④市立長野A(小林奈月・宮崎莉緒・大日方由佳・泉紗姫・東恵美)

⑤長野日大B(永江有子・竹節葉未・井出真凛・海野未樹・矢澤美季)

▲一般の部・個人(11月7日 千曲市弓道場)

①飯塚邦洋(長野) ②森泉拓志(佐久)

③小池君男(長野) ④伊藤貴啓(長野)

⑤岡田宏之(飯山) ⑥西澤 徹(大北)

⑦窪田知恵(千曲) ⑧新崎睦美(小諸)

⑨丸山晴美(飯山) ⑩外山勇一(長野)

○11月7日 飯島町弓道場

▲学生個人の部

①下平達也(伊那北) ②成田慶紀(二葉)

③近藤僚太(風越) ④芦澤春奈(二葉)

⑤宮澤良秀(岡谷南) ⑥平田恵理(二葉)

⑦小河原一真(岡谷南) ⑧小川賀教(辰野)

⑨津金泰紀(岡工) ⑩大住尊光(箕輪進修)

▲一般個人の部

①湯澤幸司(東伊那) ②小澤剛志(弓魂)

③柴 種徳(伊那) ④阿部直登(弓魂)

⑤野田陽子(木曾義仲) ⑥伊藤公二(塩尻)

⑦弧野正遵(T.E.A.M.林) ⑧平澤孝一(伊那)

⑨松本隆伸(T.E.A.M.林) ⑩上原美千代(茅野)

▲団体の部

①TEAM林(林桃子・弧野正遵・松本隆伸)

②岡谷南B(小河原一真・宮澤良秀・前川陽拓)

③伊那北B(谷川伸吾・天道諒太・下平達也)

○11月7日 県営富山弓道場(関係分)

▲男子有段者・個人の部

①中村 宏(長野県)

▲女子有段者・個人の部

①栗林 薫(長野県)

▲男子有段者・団体の部

③長野県(中村 宏・高橋正弘・市川隆光)

▲女子有段者・団体の部

①長野県(山田静香・浦野恵未香・栗林薫)

▲称号受有者・団体の部

③長野県(平澤敏弘・中村美穂・奥山雄三)

◆全国高等学校弓道選抜大会県予選

○12月4日 小諸市総合体育館特設弓道場

▲男子団体

①赤穂高校(太田貴之・山崎貴也・野溝大貴・片桐貴史) ②長野日大高校 ③松商学園 高校 ④松本深志高校

▲女子団体

①伊那西高校(岡本麻衣子・武田歩美・山下詩織・原萌美) ②松本県ヶ丘高校 ③飯田女子高校 ④野沢南高校

▲男子個人

①若松篤志(上田東) ②三浦遼河(弥生ヶ丘)

▲女子個人

①日向礼奈(野沢南) ②山口真季(美須ヶヶ丘)

○11月28日 県営飯田弓道場 参加者270名

▲個人の部・一般・四段以上

①柴種徳(伊那駒) ②坪井優(矢真飛) ③原深雪(上諏訪) ④平澤敏弘(豊丘A) ⑤中村

◆第66回南信弓道大会

○11月28日 県営飯田弓道場 参加者270名

▲個人の部・一般・四段以上

①柴種徳(伊那駒) ②坪井優(矢真飛) ③原深雪(上諏訪) ④平澤敏弘(豊丘A) ⑤中村

健二(矢真飛) ⑥松島一夫(松尾) ⑦中島啓
 (光輝) ⑧常磐三男(松尾) ⑨松枝敏広(豊
 丘A) ⑩高山寿恵(豊丘A)

▲個人の部・一般・三段以下

①小松徹朗(弓魂A) ②生田憲克(阿南)
 ③村田啓一(高森B) ④白河貴広(高森B)
 ⑤宮下真人(松川B) ⑥熊谷秀人(矢真飛)
 ⑦三島まど香(豊丘B) ⑧原田三枝(なでし
 こ秦阜) ⑨橋本和憲(弓魂A) ⑩棚田好信
 (かざしA)

▲個人の部・高校生・有段者

①下平達也(伊那北B) ②上島菜花(伊那北
 E) ③筒井雄人(飯田C) ④伊澤将太(飯田
 A) ⑤太田貴之(赤穂C) ⑥宮澤良秀(岡南
 D) ⑦北原未来将(下農A) ⑧吉田章敏(伊
 那北A) ⑨上谷大和(赤穂B) ⑩福島春奈
 (伊那北E)

▲個人の部・高校生・無段者

①中川翔太(岡工B) ②片桐貴央(赤穂D)
 ③内田百花(中野立志館A) ④北田太希(岡
 南C) ⑤原拓也(松川B) ⑥久保田翔悟(飯
 工A) ⑦関愛澄(中野立志館B) ⑧津金泰紀
 (岡工C) ⑨河角優(岡南C) ⑩畑岳史(伊
 那北C)

▲総合優勝 柴 種徳(伊那駒)

▲団体の部

①豊丘A (松枝敏広・高山寿恵・平澤敏弘)
 ②矢真飛 (熊谷秀人・坪井優・中村健二)
 ③伊那駒 (湯澤幸司・前沢秀夫・柴種徳)



表彰

◎2010年春の叙勲(教育功労)

瑞宝双光章

宮 下 倬 實(上小支部)

◎2010年秋の叙勲(教育功労)

瑞宝双光章

松 原 重 雄(木曾支部)

審査合格者

◎東京定期中央審査(10月30日)

▽六段 高地 美佐子(上小支部)

▽六段 中村 美 穂(上伊那支部)

▽六段 篠 澤 英 次(佐久支部)

◎関東地区錬士臨時中央審査

▽錬士 志 村 仁(諏訪支部)

◎【東京】特別臨時中央審査

(12月18日~19日)

▽錬士 小 山 澄 雄(飯山支部)

お悔やみ申し上げます(敬称略)

五段 市場 忠 男

(95歳)

上田市中央11-18

11月5日ご逝去

「つぎ」

新年あけましておめでとうござ
 います。弓士の皆様におかれまし
 ても新しい年を迎えられて個々に
 思いを新たにされ、新しい計画や
 ら、年間の設計を立てられた事と
 存じます。

平成22年度は春先より天候不順
 に見舞われ、春が遅く作物の植付
 けも心配されましたが何とか切抜
 ける事が出来ました。梅雨が明け
 ると猛烈な暑さに見舞われ農作物
 も相当の影響を受けました。私も
 米作り、野菜作りと農業を少々営
 んでいますがあまり良い出来では
 なく収穫に少なからずのダメージ
 がありました。本年23年はどんな
 年になるのか?予想もつきません
 が出来るだけの努力をして良い年
 になるように願っています。

私には政治むきの事はわかりま
 せんが多くの有権者が求められた
 政治の変革への期待は大きく外れ
 たように思います。各弓道場のあ
 り方、若い人の育成、活性化等変
 えて行かなければならない事が多
 くあります。年頭に当り私も考え
 てみたいと思っています。

◎春は山が笑う ◎夏は山が滴る
 ◎秋は山が粧う ◎冬は山が眠る
 中国のある画家の言葉の引用です
 が、四季が良くわかる良い年であ
 りますように。
 (鷹野良信)

謹賀新年

全日本弓道具協会会員

中島弓具店

有限会社



限らない弓道心に
 真心で御手伝い



〒380-0935

長野市中御所1丁目12番5号 TEL 026-228-3443 FAX 026-223-4855